

積極的に行動してみる

モーニングセミナー

今日一日、朗らかに
安らかに、喜んで
進んで働きます。

<制作・著作>
新居浜別子倫理法人会
TEL 0897-65-1644
FAX 0897-65-1644
beturin@mx82.tiki.ne.jp

賢者の贈り物

素敵なお心のプレゼント

ある年輩のお母さまからお聞きしたお話。昔、その方が学校に通っていた頃、帰宅すると、母が決まって、「うわあ！学校のにおいを持って来た！」と言います。

学校のにおい。その頃は、母の言う「学校のにおい」が理解出来ず、ただムカッとしていたのです。が、自分が母親になって、小学校一年生になった息子が帰って来ると、たしかに学校帰りのにおいがしたのです。ランドセルを開けると、むせ返るほどに。その方の母が言っていた「学校のにおい」がわかったよ！と伝えたい、と弾んだ声で語ってくれました。

今年も十二月がやって来ました。クリスマスプレゼントに、有名な、オー・ヘンリーの「賢者の贈り物」をお贈りします。

これは、貧しい生活を送る、ある夫婦の物語です。クリスマスに愛する夫に何かプレゼントを、と思う妻。でも、貧しくて高価なものを買えません。

夫の持つ懐中時計に金の鎖をつけてあげたい。その金の鎖を買うために、自分の自慢だった長く美しい髪をばつさり切つて、それを売ったお金で、

光り輝く金の鎖を手に入れました。一方の夫。最愛の妻に何かをプレゼントしたい。でも、貧しくて何も買つてあげることが出来ません。持っているものといえど、懐中時計だけ。そこで、彼はその懐中時計を売って、輝くばかりに美しい妻の髪に、と髪飾りを手に入れました。

多喜浜塩田の歴史を語る真鍋篤正講師



多喜浜塩田開発の概要と終焉

平成二十年十二月三日（水）午前六時から、新居浜市、多喜浜公民館運営審議委員・多喜浜塩田資料館建設推進委員長真鍋篤正氏を講師に「多喜浜塩田開発の概要と終焉」と題して、ご講演頂きました。

平成二十年十二月三日（水）午前六時から、新居浜市、多喜浜公民館運営審議委員・多喜浜塩田資料館建設推進委員長真鍋篤正氏を講師に「多喜浜塩田開発の概要と終焉」と題して、ご講演頂きました。

元禄十三年（西暦千七百零六年）、阿波の国の浜師六左衛門が黒島に来たところから多喜浜塩田の歴史は始まり、幾多の災害を乗り越え二百五十年ほどの歴史を刻んだ塩田は、五十年ほど前、国の施策により廃田となす。是非おいで下さい。

キョロキョロしてみる

周囲では何かが起こっている

私たちが現代人の日常というものは、コンピュータのディスプレイを見た、本や新聞の文字を見ていた、いつも目の前の小さい面積をターゲットにしています。

周囲の安全が、社会システムによって極めて高く保障され、ひとりひとりの人間は、安心・安定の中で集めるように、どんどん喪失して行っているのではないのでしょうか。

お金に価値をつける

十円玉一枚では、殆ど何も出来ませんが、自分の幸せが何処にあるか知る人は、例えば、公衆電話から電話を聴いたり、悩んでいる友人を励ましたりします。

役員朝礼 モーニングセミナー準備



「夢限りなく」斉唱



藤田修生会長挨拶



会員スピーチ 大西三津子会員



ホノルマラソン・十キロウォーキングに母と出場予定。六十〜八十は人生の黄金期。人生を楽しくやる気になり行く気になればなんとかなる。